LAPSS

地方公共団体実行計画策定･管理等支援システム
（Local Action Plan Supporting System）

操作勉強会（初級編）

2025年　5月
株式会社　野村総合研究所

Copyright（C）　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

アジェンダ

プログラム	時間	資料該当ページ
開会、勉強会の趣旨等説明	5分	P2～4
LAPSSの機能紹介	25分	P5～28（事務事業編） P29～34（区域施策編）
LAPSSの操作概要説明	30分	P35～36
LAPSSにおける活動項目及び 排出係数の運用変更に係る説明	20分	別添資料参照
アンケートへのご協力のお願い	5分	-
質疑応答	20分	P37～43（よくあるご質問）
計	105分（予定）	

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本勉強会に関する注意事項

- 本日はLAPSSの操作勉強会（初級編）にご参加いただきありがとうございます。
  勉強会に先立ち事前に以下の注意事項をご確認ください。
- 本勉強会の資料は、参加登録いただいたご担当者様宛にお送りしたメールにて事前共有しております。必要に応じてお手元のPCにも資料をご用意の上、ご参加ください。
- また、事務局の説明に合わせて、お手元でLAPSSを操作していただくことで理解が深まるかと存じます。ご用意できる方は是非LAPSSを操作いただける状態でご参加いただけますと幸いです。
- なお、本勉強会の内容は後日環境省HPにて動画での配信を予定しております。
  適宜ご活用ください。

  https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html
- 本勉強会の最後に、参加者の皆様からのご質問をお受けする質疑応答の時間を設けております。
  ご質問がある場合は、配信画面内にある「Q&A」欄に質問内容を入力の上、送信してください。
  お寄せいただいたご質問の中から、事務局より適宜ご回答いたします。なお、当日の進行状況等の理由により、すべてのご質問にはお答えできない可能性がございますので、予めご了承ください。
  お答えできなかったご質問については、後日LAPSS掲示板にてご回答させていただきます。
  なお、本日の質疑応答の内容については、後日環境省HPにて掲載いたします。適宜ご活用ください。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本勉強会の趣旨説明

- 環境省では、地方公共団体実行計画（事務事業編・区域施策編）の策定、温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を目的とした『地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム「LAPSS（ラップス）」』を開発しています。
- LAPSSは、地方公共団体の職員の皆様のご負担（地方公共団体実行計画の策定、進捗管理の効率化等）を軽減していくことを目的としております。
  本勉強会では、
  - 既にLAPSSの利用登録をいただいている地方公共団体の職員の皆様におかれましては、LAPSS のさらなる積極的な利用・活用促進を図っていただく
  - 新たにご登録いただいた地方公共団体の職員の皆様におかれましては、今後の利用・活用に活かしていただく

  ために、LAPSSの機能のうち、より多くの団体にご活用いただいている機能や本格利用後にご活用いただきたい機能について、ご説明させていただきます。
- 本勉強会の最後には質疑・応答の時間も設けておりますので、LAPSSを使用している中でのお悩みやご要望等をお寄せいただけますと幸いです。
- なお本勉強会は、環境省大臣官房地域脱炭素政策調整担当参事官室から調査を受託している野村総合研究所が実施いたします。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本勉強会の位置付け

- 本勉強会では、既にLAPSSをご利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSの機能を最低限把握しておきたいという方々を対象に、LAPSS本格利用後にご活用いただきたい機能等のご紹介をさせていただきます。
- より詳細・発展的な内容を含む操作勉強会（中級編）の開催も予定しておりますので、ステップを踏んでLAPSSの使い方をマスターしていただけます。
- また、主にLAPSSをまだ利用されていない団体の皆様を対象に、LAPSSのより基本的な機能についてご説明する、新規利用団体向け説明会の開催も予定しております。
こちらの説明会には、既にLAPSSのアカウントをお持ちの皆様も参加可能でございます。

新規利用団体向け説明会
【令和６年９月開催済、令和７年10月頃開催予定】

- LAPSSの利用をご予定・ご検討いただいている地方公共団体の職員の皆様を対象に、LAPSS利用のメリットや主要な機能、利用事例のご紹介、LAPSS導入までの流れについてご説明いたします。

操作勉強会（初級編）
【５月開催】

- 既にLAPSSを利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSの機能を最低限把握しておきたいという方々を対象に、本格利用後にご活用いただきたいLAPSSの基本的な機能の紹介・操作デモを行います。

操作勉強会（中級編）
【次回６月開催予定】

- 既にLAPSSを利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSを使いこなしたいという方々を対象に、より発展的なLAPSSの機能の紹介・操作デモを行います。

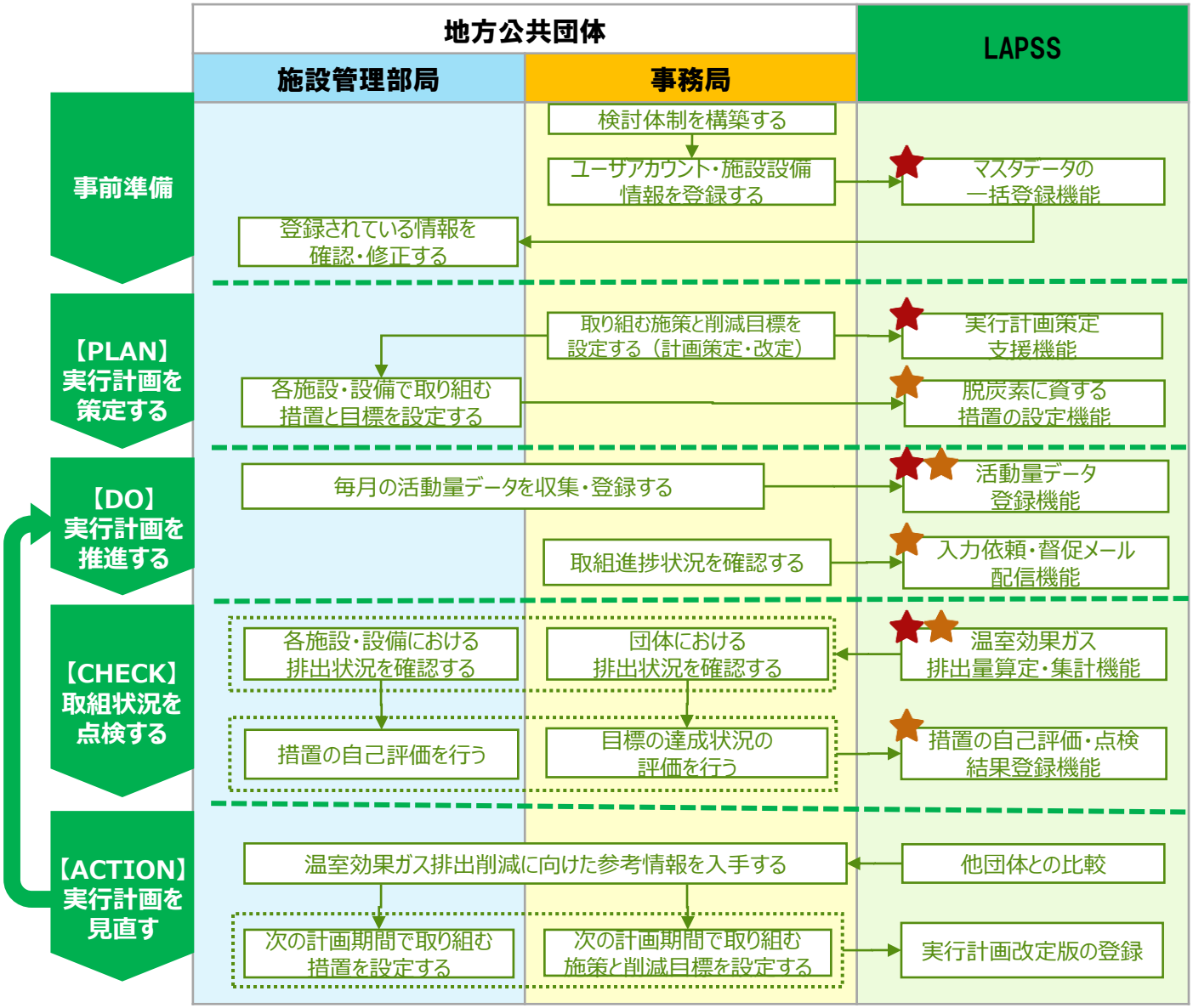
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム（LAPSS）機能のご紹介

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

実行計画（事務事業編）の策定・運用に係る業務とLAPSS機能



★：利用率の高い機能

★：今回重点的にご紹介する機能

- 事務局：各地方公共団体において実行計画を所管する部局
- 施設管理部局：主にLAPSSへのデータ入力を担当する部局

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能一覧（事務事業編）　※2025年5月時点

★：今回重点的にご説明する機能

マスタデータの一括登録機能	✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録
実行計画策定支援機能	✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力 ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能
★ 脱炭素に資する措置の設定機能	✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定 →措置分類、削減目標、導入費用等を管理
★ 活動量データ登録機能	✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ（実績値）を登録 ※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能
他団体比較機能	✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能
★ 排出量・活動量算定・集計機能	✓ 排出量・活動量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能 ✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能 ✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能 ✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能
措置の自己評価・点検結果登録機能	✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施
★ 入力依頼・督促メール配信機能	✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信
掲示板閲覧・投稿機能	✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした団体内掲示板機能を利用可能

Copyright（C）　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

2025年3月に更新された主な機能

利用団体の皆様からのご意見をもとに、以下の機能を更新いたしました。

マスタデータの一括登録機能	✓ マスタデータ一括登録ツールで数式が利用可能に（P9ご参照）
脱炭素に資する措置の設定機能	✓ 部局・課室権限でも部局・課室・施設の削減目標を設定可能に（P12ご参照）
活動量データ登録機能	【個別登録】 ✓ 表示する施設の並べ替え・選択が可能に（P13ご参照） ✓ 実績値の確定・確定解除を一括して実施可能に（P13ご参照） ✓ 総量項目の自動計算が可能に（P16ご参照） 【一括登録】 ✓ 実績値一括登録ツールで数式が利用可能に（P14ご参照） ✓ 施設管理部局権限でも実績値一括登録ツールが利用可能に（P14ご参照）
排出量・活動量算定・集計機能	✓ 部局・課室権限でも関連制度別集計が可能に（P22ご参照）

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

1．【事前準備】マスタデータの一括登録機能

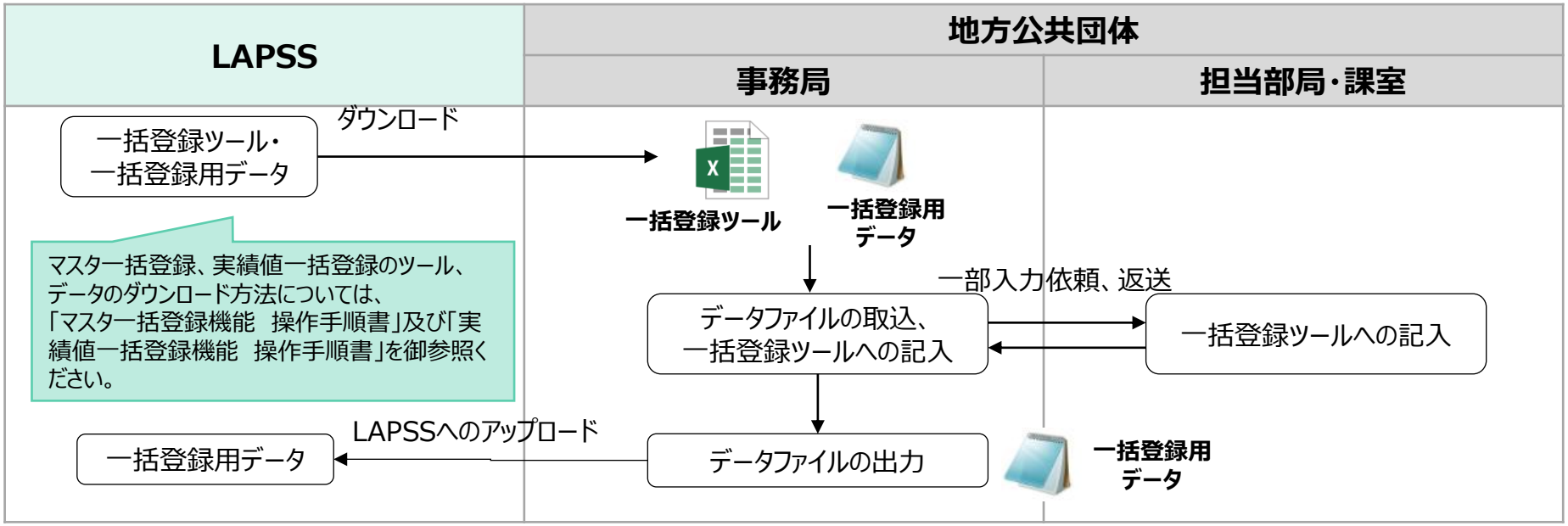
事務局

◆ LAPSS利用開始団体における課題

マスタデータ（部局・課室、施設・設備情報）や施設・設備の過去実績値の初期登録、LAPSSへのデータ移行に手間がかかる

LAPSSに掲載されている専用Excelツール(VBA)を使用することで、**マスタデータ、実績値を一括で登録**することが可能です。
2025年3月より、Excel上で数式を入力できるようになりました。

マスター括登録、実績値一括登録機能利用におけるワークフロー



Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

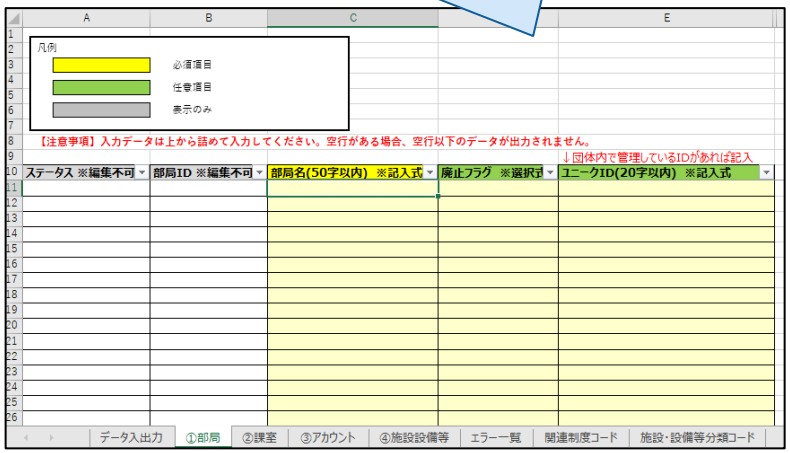
1．【事前準備】マスタデータの一括登録機能

事務局

◆ 一括登録と個別登録の比較

	一括登録	個別登録
機能概要	基礎情報（部局、課室、施設・設備、アカウント）を<u>**複数まとめて登録**</u>する	基礎情報（部局、課室、施設・設備、アカウント）を<u>**一つ一つ登録**</u>する
登録方法	LAPSSの「マスタ設定」＞「マスタデータの一括登録を行う」からダウンロードした<u>**一括登録ツール（Excel）**</u>にデータを入力した上で、LAPSSにアップロードする	LAPSSの「マスタ設定」＞「部局を設定する」/「課室を設定する」/「施設・設備を設定する」/「ユーザーアカウントを設定する」から、<u>**LAPSSの画面上で**</u>個別に登録する

一括登録の場合、ツール（Excel）上で新たに登録したい項目全てを入力し、LAPSSにアップロードすることでまとめて登録することができる。



個別登録の場合、LAPSSの画面上で新たに登録したい項目を１つ１つ入力・登録する作業を繰り返す必要がある。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

2．【PLAN】実行計画基礎情報登録機能

事務局

◆ 地方公共団体実行計画（事務事業編）の策定における課題

職員不足により、実行計画の策定に関する業務に十分な時間を割くことができない/業務負荷軽減のために計画の雛型が欲しい

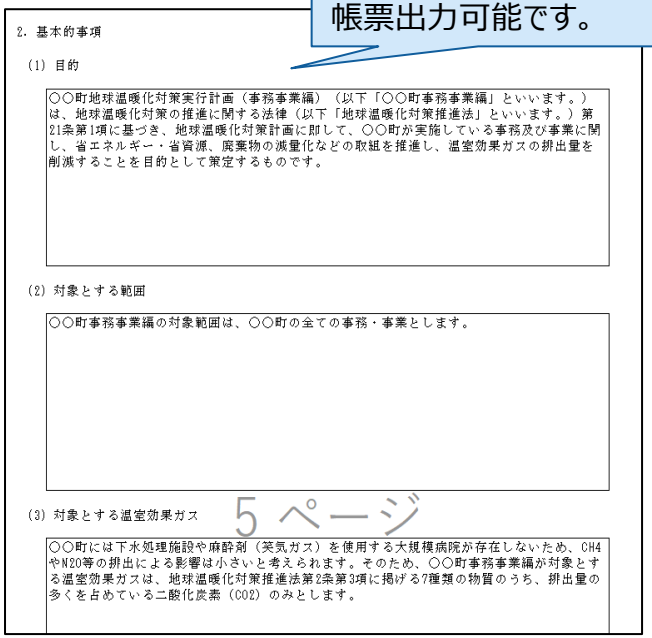
実行計画基礎情報登録機能を活用すれば、フォーマットに沿って入力するだけで実行計画に関する**情報が登録可能**です。登録された情報は**帳票として出力する**こともできます。

計画名称、計画期間、基準/目標年度、目標年度温室効果ガス排出量等を登録することができます。

目的や温室効果ガスの排出状況等、実行計画の関連情報の登録も可能です。

フォーマットに沿って必要事項を入力した後、登録内容は帳票出力することができるため、**実行計画の策定に係る負担を軽減**できます。

そのまま公表いただける形で帳票出力可能です。



2．基本的事項

(1) 目的

○○町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「○○町事務事業編」といいます。）は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「地球温暖化対策推進法」といいます。）第21条第1項に基づき、地球温暖化対策計画に即して、○○町が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的として策定するものです。

(2) 対象とする範囲

○○町事務事業編の対象範囲は、○○町の全ての事務・事業とします。

(3) 対象とする温室効果ガス　5 ページ

○○町には下水処理施設や麻酔剤（笑気ガス）を使用する大規模病院が存在しないため、CH4やN2O等の排出による影響は小さいと考えられます。そのため、○○町事務事業編が対象とする温室効果ガスは、地球温暖化対策推進法第2条第3項に掲げる7種類の物質のうち、排出量の多くを占めている二酸化炭素（CO2）のみとします。

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

3．【PLAN】脱炭素に資する措置の設定機能

事務局　施設管理部局

◆ 脱炭素に資する措置の検討、実施における課題

施設管理部局の排出量は管理しているものの、温室効果ガスの排出削減のために取り組む措置について管理できていない

管理している施設・設備において、温室効果ガスの排出削減のために取り組む**措置の内容の登録が可能**です。施設ごとの**措置設定内容はCSVファイルとして出力**することもできます。

施設・設備ごとに、措置の実施時期・削減目標・具体的内容を設定できます。
2025年3月より、部局・課室権限でも部局・課室・施設の削減目標を設定可能になりました。

フォーマットに沿って必要事項を入力した後、登録内容は帳票出力することができるため、**措置の策定に係る負担を軽減**できます。

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

4．【DO】活動量データの登録機能

事務局　施設管理部局

◆ 活動量データの管理における課題

報告された活動量データの管理や精査に手間がかかる

施設管理者が施設毎の活動量データをブラウザから入力することが可能です。
異常値（桁間違い等）を自動でチェックする機能もあるので、誤入力を防止します。

対象となる施設を検索
＊2025年3月より、表示順の並び替え（部局名順、施設分類順、施設名順）、および表示する施設の選択が可能になりました。

実績値の入力を行う施設・設備の、各月のマーク（○）をクリック

入力対象月を選択

入力対象月の活動量を「当年度値」の欄に入力

「ステータスを更新」をクリックすると、実績値の「入力中」「入力完了」のステータスを一括して変更可能
＊2025年3月より実施可能になりました。

ステータスを更新したい対象月とステータスを選択し、「更新」をクリック

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

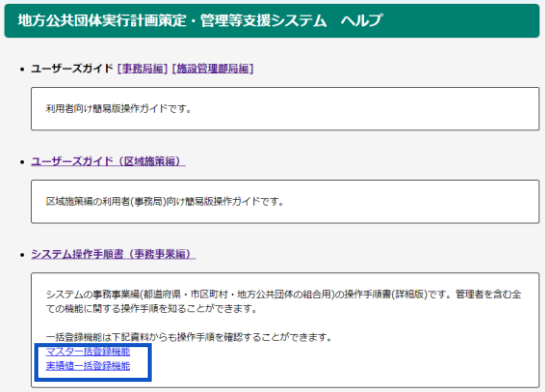
New!

4．【DO】活動量データの登録機能

事務局　施設管理部局

活動量データの**一括登録機能**もありますので、施設の活動量データを**一括で登録することも可能**です（専用Excelツール(VBA)を利用）。
2025年3月より、施設管理部局権限でも一括登録ツールをご利用いただけるようになりました。また、**Excel上で数式を入力できるようになりました。**

【実績値の一括登録】
実績値一括登録機能の詳しい操作手順は、トップ画面の「操作でお困りの方はこちら（操作手順書、問い合わせ先等）」をクリックし、さらに「実績値一括登録機能」をクリックしてご確認ください。
https://www.lapss.env.go.jp/lapss/help/record_entry_manual.pdf



Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

4．【DO】活動量データの登録機能

事務局　施設管理部局

活動量データの登録機能においては、**団体独自の活動項目と排出係数を設定**することが可能です。

自団体の独自項目の名称や活動量の単位、排出係数等を登録することで、当該項目について活動量データを登録可能

Copyright（C）　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

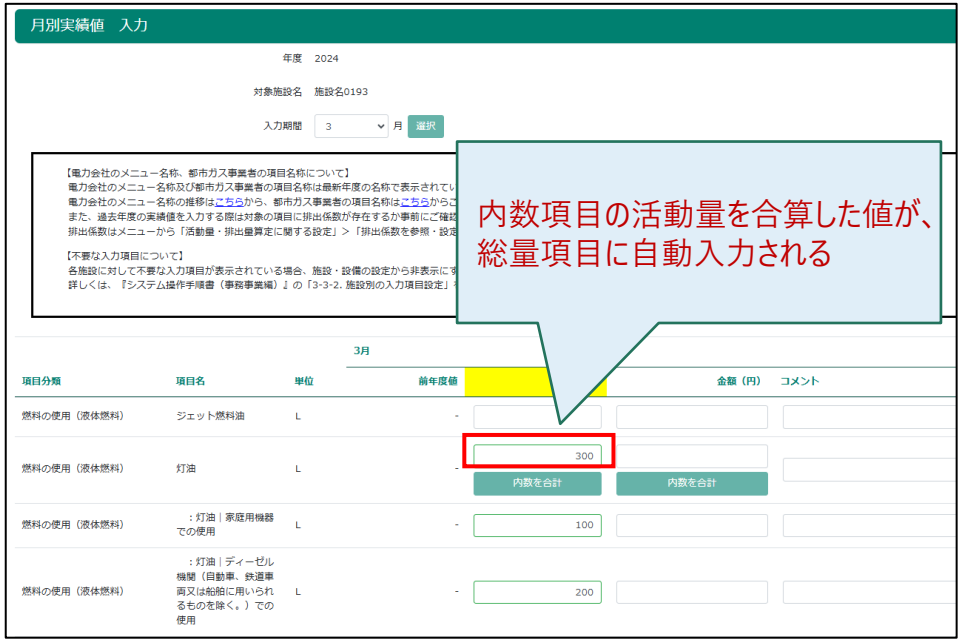
New!

4．【DO】活動量データの登録機能

事務局　施設管理部局

一部のエネルギー種別（ガソリン、灯油等）では、それぞれの使用目的に応じた活動項目（「自動車での使用」「家庭用機器での使用」等、以下”内数項目”）と、エネルギー種別ごとでの使用量を合算した活動項目（「ガソリン」「灯油」等、以下”総量項目”）が存在しております。

2025年3月より、内数項目に入力した活動量・金額を自動で合算し、総量項目に入力することが可能になりました。



Copyright（C）　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

5．【DO】入力依頼・督促メール配信機能

事務局

◆ 活動量データの収集における課題

施設管理者からの活動量データの収集業務に手間がかかる
（入力依頼、督促など）

期限までに入力されていない施設管理部局に対して**入力依頼メール**や**督促メール**を自動配信することが可能です。

施設毎の活動量データが期限までに入力されていない施設管理部局に対して、入力依頼・督促メールが自動で配信されるため、**管理業務の工数の削減**が可能。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

6．【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局　施設管理部局

◆ 排出量の算定・集計における課題

温室効果ガス排出量の算定・集計に手間がかかる
電気事業者等の排出係数が毎年変わるため、管理が手間

条件（集計範囲、温室効果ガスの種類、集計方法）を組み合わせた集計・出力が可能であり、**排出量の推移・内訳を見える化**することができます。
排出係数は**LAPSSが標準装備**しており、**更新作業は不要（LAPSS側で自動更新）**です。
基礎排出係数のほか、温対法・省エネ法等各種報告に必要な調整後排出係数もご利用いただけます。

排出量の推移、内訳（構成比率）をグラフ表示し、分析を容易に行うことができ、**集計に掛かる工数を大幅に削減**できます。

排出量の算定に必要な排出係数はLAPSSが標準装備しています。
毎年の排出係数の更新は必要ありません。

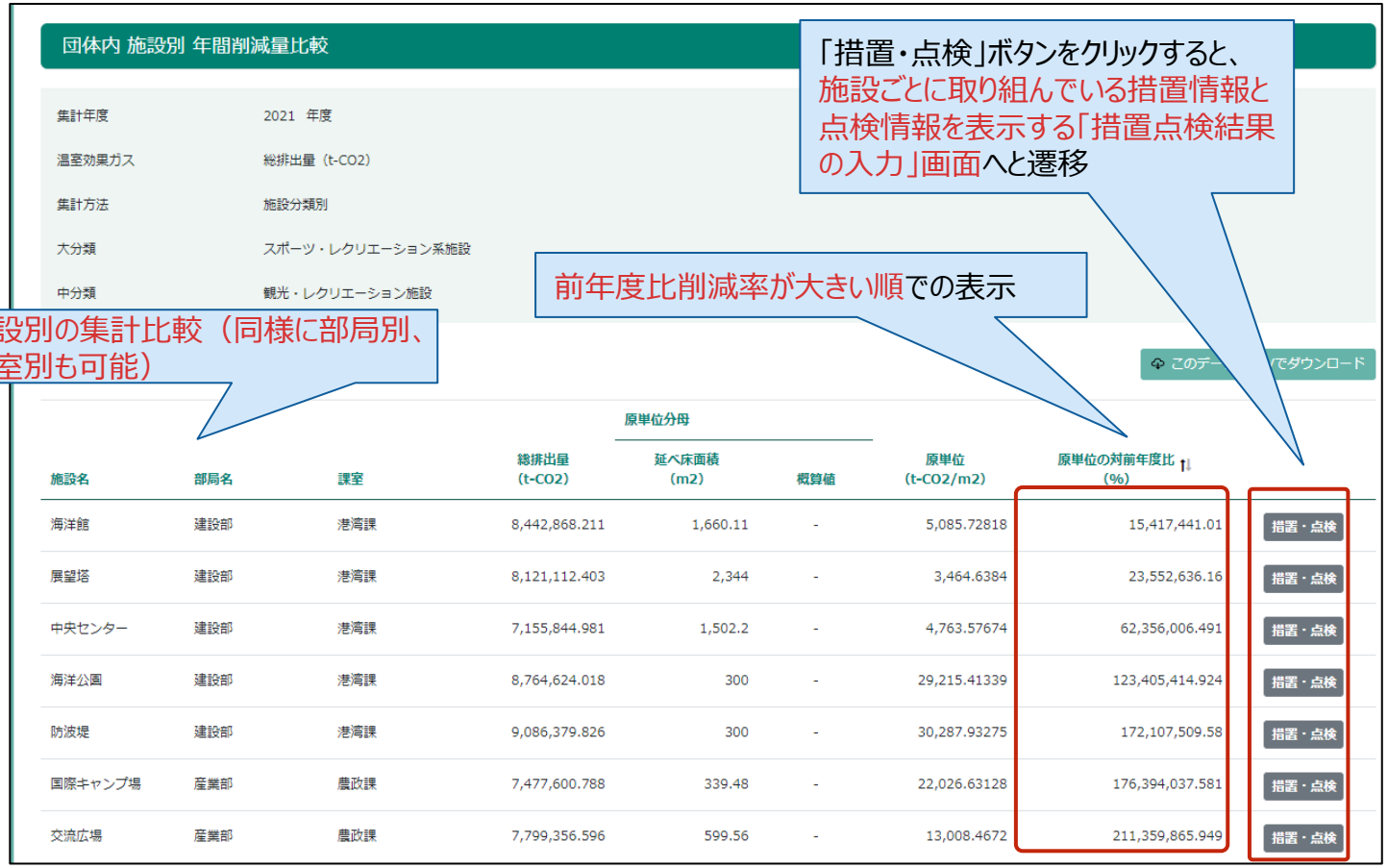
Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

6．【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局　施設管理部局

排出量算定・集計機能においては、**団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較**することが可能です。



Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

6．【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

排出量算定・集計機能においては、**部局/課室/施設別だけでなく、任意の施設グループを設定することで、施設グループ別に集計することが可能**です。

施設グループの設定

活動量や温室効果ガス排出量を任意のグループごとに集計したい場合、施設グループを登録

施設ごとに登録した施設グループを設定

集計

集計方法を「施設グループ別」に設定することで、グループごとの集計結果を表示可能

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

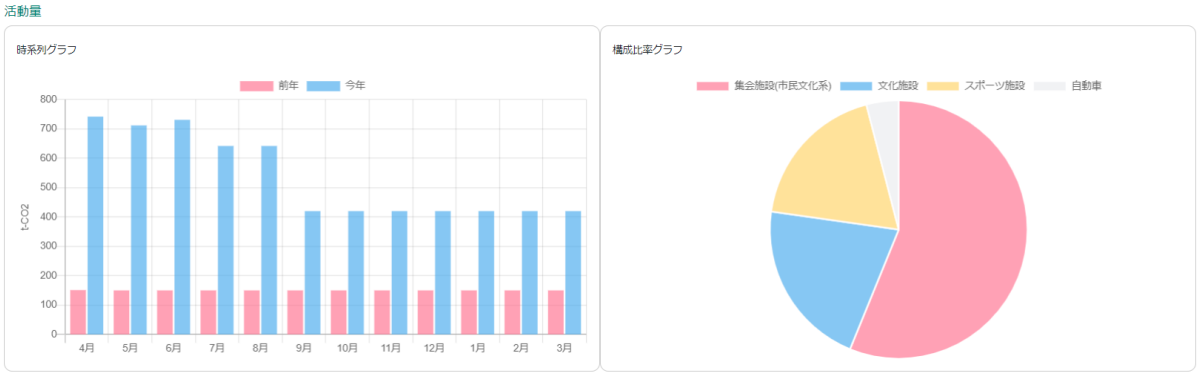
LAPSSの機能概要（事務事業編）

6．【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局　施設管理部局

排出量算定・集計機能においては、**温室効果ガス排出量のみならず活動量データについても、集計・グラフ表示・帳票出力が可能**です。

集計条件（対象制度、集計年度、集計範囲、集計方法等）を設定



活動量の時系列グラフや構成比率グラフを表示

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

7．【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局　施設管理部局

◆ 関連制度の排出量算定における課題

省エネ法・温対法など、関連する法制度の温室効果ガス算定に係る作業負荷が大きい

省エネ法・温対法報告などに応じた排出量の算定が可能です。
2025年3月より、部局・課室権限でも関連制度別に集計することが可能になりました。

「事務事業編」のほか、「省エネ法」、「温対法(算定・報告・公表制度)」等を指定可能です。

関連制度で必要となる温室効果ガス排出量を算定できます。
これにより**類似する法制度の排出量算定の工数が大幅に削減**できます。

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

7．【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

2023年5月より、**省エネ法・温対法・フロン法の同時報告、及び、温室効果ガス排出に関する情報の統合管理を可能とする新システム「省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム（EEGS）」に、LAPSSとのデータ連携機能が搭載**されています。（※EEGS側での操作となり、LAPSS側での操作は不要）

地方公共団体が省エネ法・温対法の報告を行う場合は、LAPSSに入力したエネルギー使用量や活動量の情報をEEGS連携することで、類似データの重複入力を避け、団体職員の報告に係る事務負担を軽減できます。

※操作方法詳細は「省エネ法・温対法・フロン法 電子報告システム操作マニュアル（温対法編）」p34「2.6. LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み」を参照ください。

https://s3-prd-step5-eegs-portal.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/manual/%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB%EF%BC%88%E6%B8%A9%E5%AF%BE%E6%B3%95%E7%B7%A8%EF%BC%89.pdf#page=8

EEGS画面

EEGSにログイン後、事業者基本情報入力画面で、「地方公共団体ID」を地方公共団体IDを入力または編集します。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

7．【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

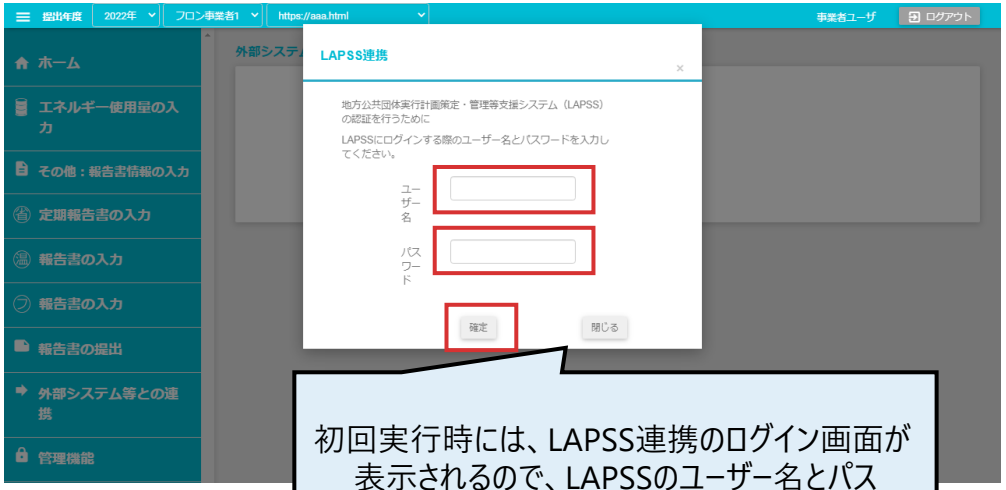
EEGSに登録されている事業所とLAPSSに登録されている施設の紐づけを行います。

EEGS画面

さらに「LAPSS連携」ボタンをクリックします。

EEGSホーム画面で「外部システム等との連携」メニューをクリック

EEGS画面



初回実行時には、LAPSS連携のログイン画面が表示されるので、LAPSSのユーザー名とパスワードを入力し、「確定」ボタンをクリックします。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

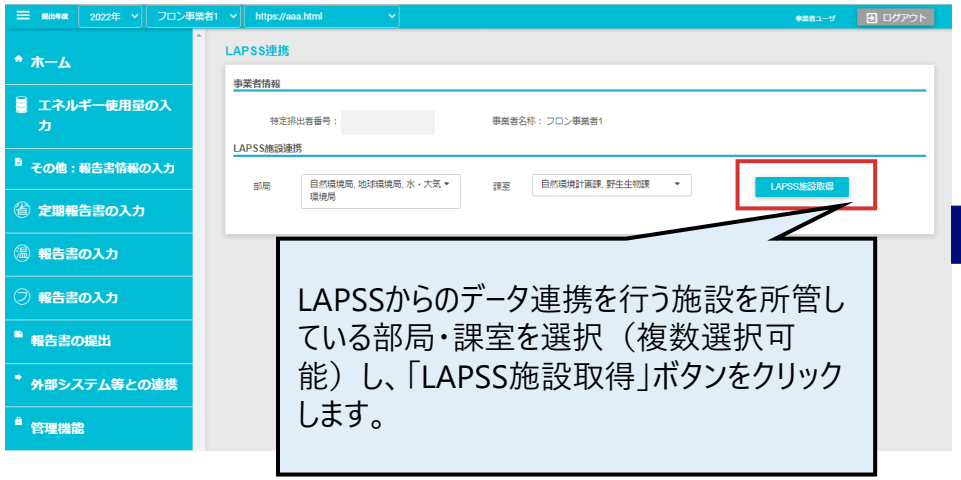
LAPSSの機能概要（事務事業編）

7．【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

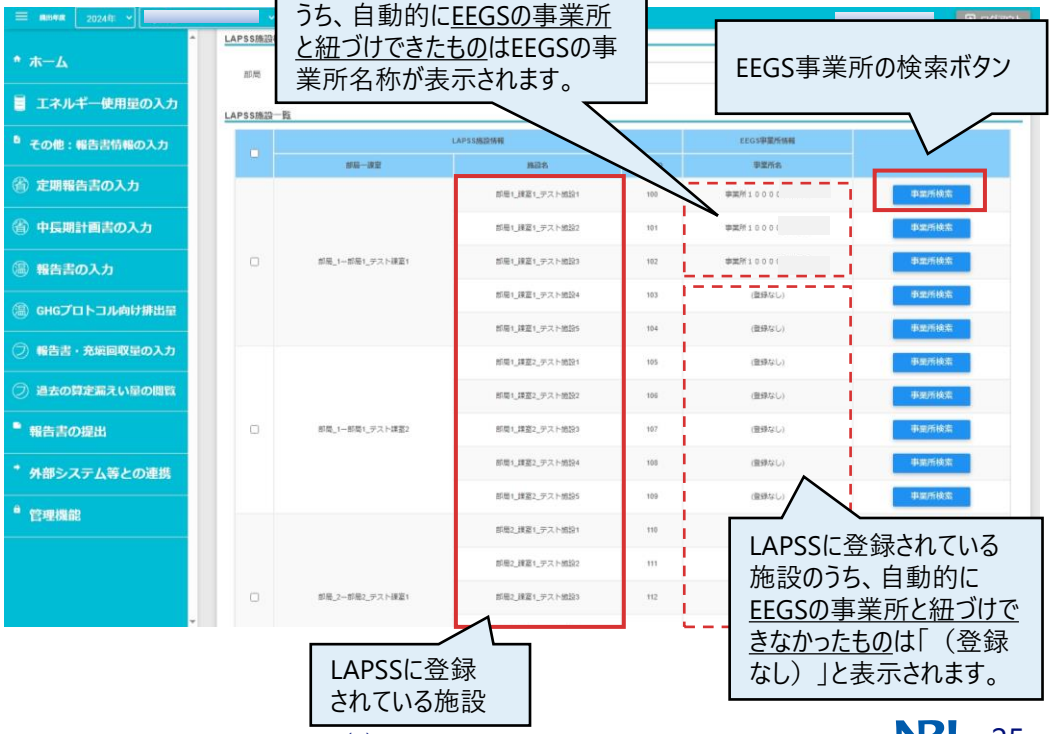
EEGSに登録されている事業所とLAPSSに登録されている施設の紐づけを行います。

EEGS画面



LAPSSからのデータ連携を行う施設を所管している部局・課室を選択（複数選択可能）し、「LAPSS施設取得」ボタンをクリックします。

EEGS画面



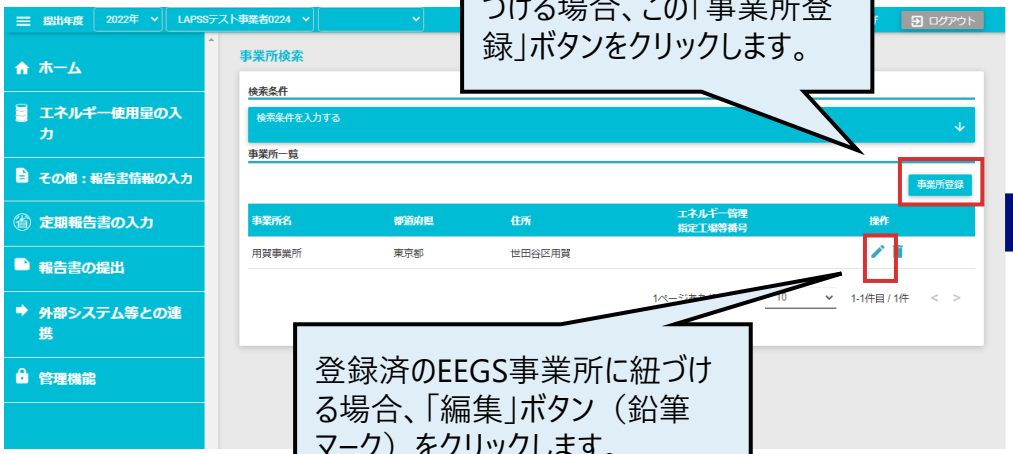
Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

7．【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

EEGS画面



未登録のEEGS事業所に紐づける場合、この「事業所登録」ボタンをクリックします。

登録済のEEGS事業所に紐づける場合、「編集」ボタン（鉛筆マーク）をクリックします。

EEGS画面

クリックします。

LAPSS施設との紐づけを行うため、EEGS事業所情報画面で「LAPSS施設ID」と「LAPSS施設延べ床面積」を入力します。

なお、前頁に示したLAPSS施設一覧画面の下部にある「LAPSS施設一覧エクスポート」ボタンから、指定したLAPSS施設一覧をCSVファイルにエクスポートし、CSVファイルを編集後、そのファイルをアップロードしてLAPSS施設情報を一括登録することにより、**EEGS事業所との紐づけを一括で行うこともできます。**

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

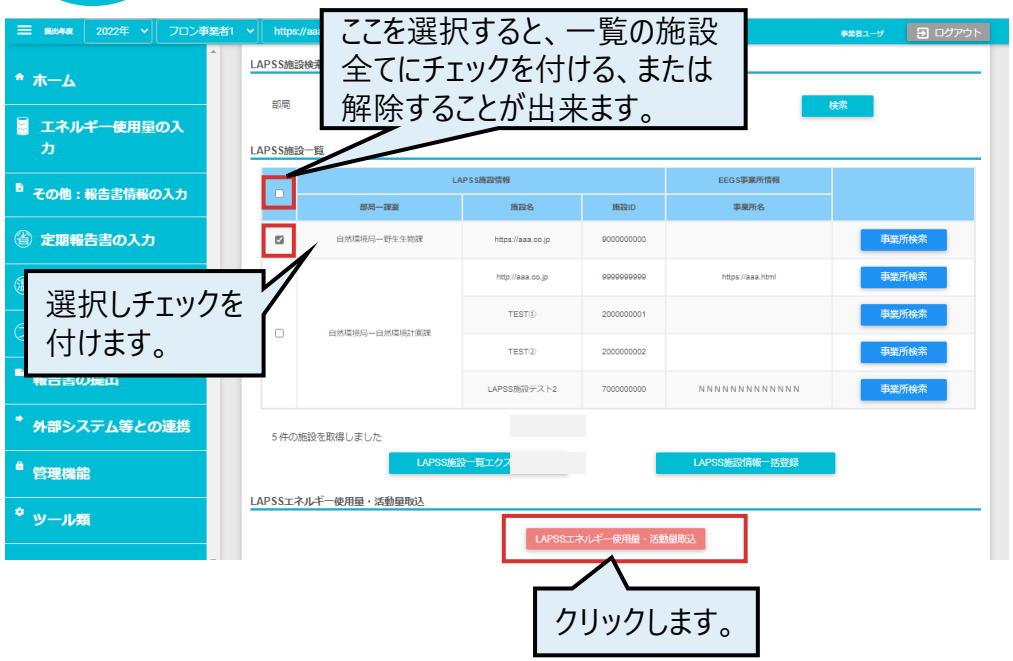
7．【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

LAPSSから選択した施設のエネルギー使用量の取り込みを行います。

LAPSS施設一覧画面

EEGS画面



各事業所のエネルギー使用量入力画面

EEGS画面

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（事務事業編）

8．【CHECK】措置の自己評価・点検結果登録機能

事務局　施設管理部局

◆ 措置の自己評価・点検における課題

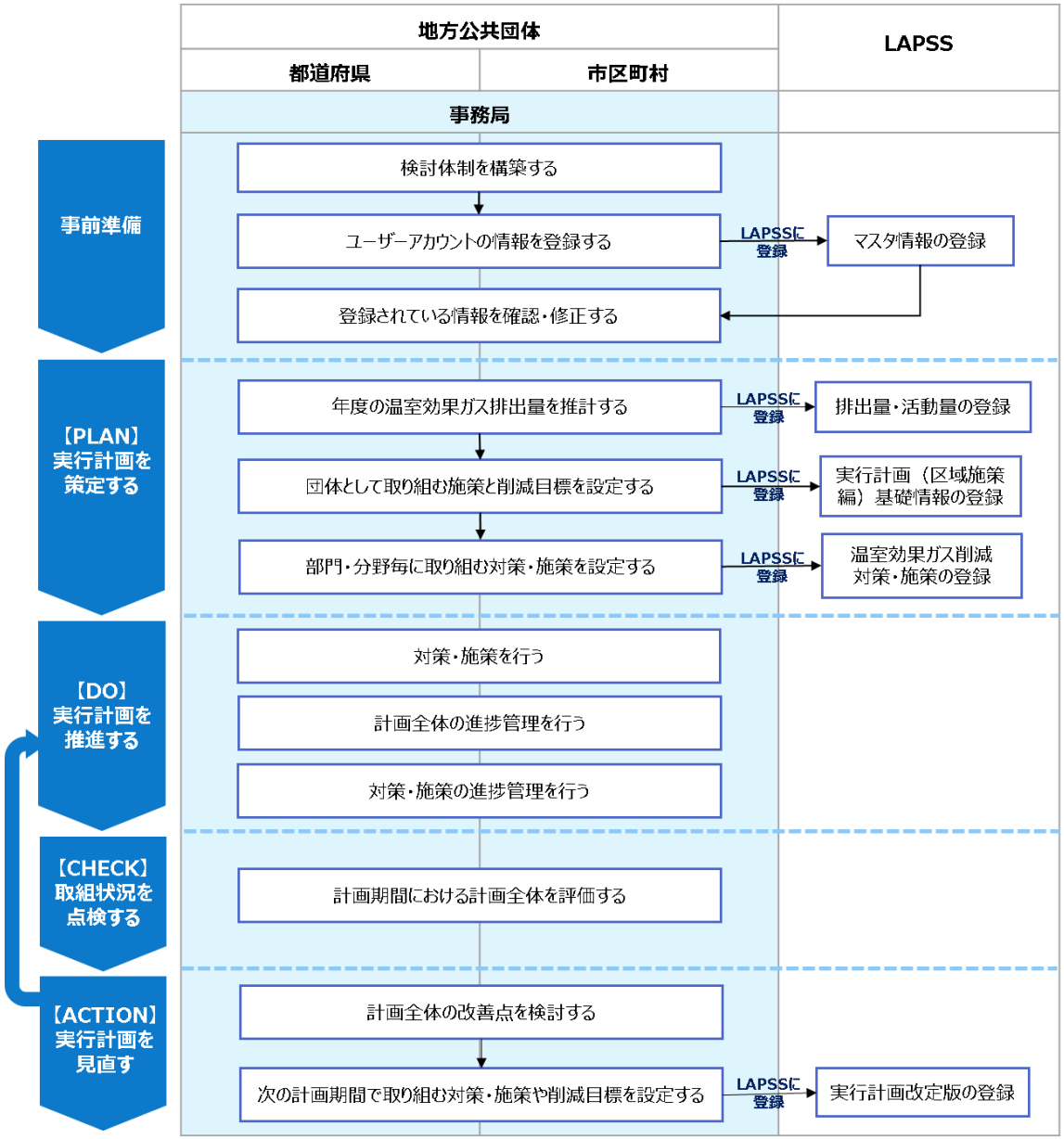
温室効果ガス削減措置を設定しているものの、評価や点検の管理ができていない

実行計画策定時に設定した各施設設備の措置についても、活動量・排出量の管理と同様に、**年度ごとに取組状況の点検と自己評価**を入力・管理することができます。

措置ごとの自己評価と、総合評価を入力し、管理することができます。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

実行計画（区域施策編）の策定・運用に係る業務とLAPSS機能



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能一覧（区域施策編）　※2025年5月時点

◆ LAPSSは、地方公共団体実行計画（事務事業編）における温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を主な目的としていますが、**令和5年度から区域施策編にも対応**しました。

実行計画策定支援機能	✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力 ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用
地域脱炭素化促進事業に関する事項	✓ 促進事業の目標、促進区域の類型・ゾーニング情報、再エネ活用のため促進区域において整備する施設、地域の脱炭素化のための取組等の設定・管理
温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定支援機能	✓ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定のための参考情報を提供 ✓ 設定した対策・施策の管理も可能
排出量・活動量データ管理・集計機能	✓ 年度単位、部門・分野ごとでの排出量データ（推計値）や吸収量を登録し管理 ✓ 排出量の推移・内訳を自動集計しグラフ化

Copyright（C）　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（区域施策編）

1．実行計画策定支援機能

事務局

◆ 地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定における課題

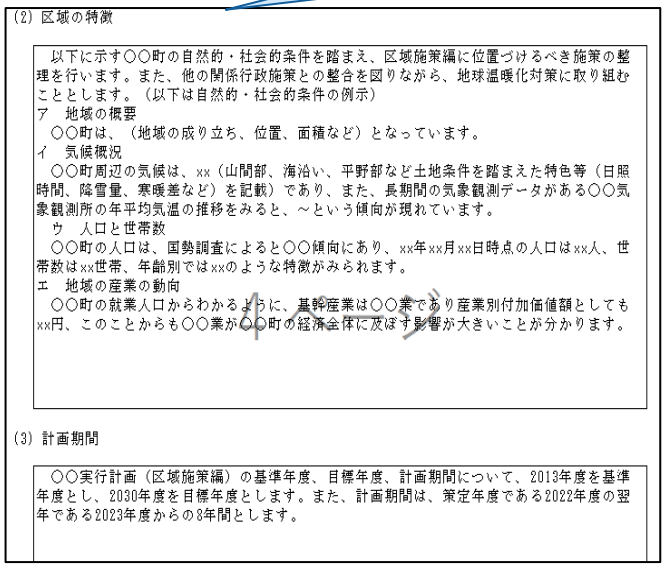
職員不足により、実行計画の策定に関する業務に十分な時間を割くことができない/業務負荷軽減のために計画の雛型が欲しい

実行計画基礎情報登録機能を活用すれば、フォーマットに沿って入力するだけで実行計画に関する**情報が登録可能**です。登録された情報は**帳票として出力する**こともできます。

計画名称、計画期間、基準/目標年度、目標年度温室効果ガス排出量等を登録することができます。

フォーマットに沿って必要事項を入力した後、登録内容は帳票出力することができるため、**実行計画の策定に係る負担を軽減**できます。

そのまま公表いただける形で帳票出力可能です。



(2) 区域の特徴

以下に示す○○町の自然的・社会的条件を踏まえ、区域施策編に位置づけるべき施策の整理を行います。また、他の関係行政施策との整合を図りながら、地球温暖化対策に取り組むこととします。（以下は自然的・社会的条件の例示）

ア　地域の概要

○○町は、（地域の成り立ち、位置、面積など）となっています。

イ　気候概況

○○町周辺の気候は、xx（山間部、海沿い、平野部など土地条件を踏まえた特色等（日照時間、降雪量、寒暖差など）を記載）であり、また、長期間の気象観測データがある○○気象観測所の年平均気温の推移をみると、～という傾向が現れています。

ウ　人口と世帯数

○○町の人口は、国勢調査によると○○傾向にあり、xx年xx月xx日時点の人口はxx人、世帯数はxx世帯、年齢別ではxxのような特徴がみられます。

エ　地域の産業の動向

○○町の就業人口からわかるように、基幹産業は○○業であり産業別付加価値額としてもxx円、このことからも○○業が○○町の経済全体に及ぼす影響が大きいことが分かります。

(3) 計画期間

○○実行計画（区域施策編）の基準年度、目標年度、計画期間について、2013年度を基準年度とし、2030年度を目標年度とします。また、計画期間は、策定年度である2022年度の翌年である2023年度からの8年間とします。

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（区域施策編）

2．地域脱炭素化促進事業に関する事項

事務局

◆ 地域脱炭素化促進事業の管理における課題

情報管理が一元化されておらず、引き継ぎがうまくいかない

地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項等を**登録・管理可能**です。

地域脱炭素化促進施設の目標、促進区域、地域脱炭素化促進施設の種類などの各情報を登録できます。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（区域施策編）

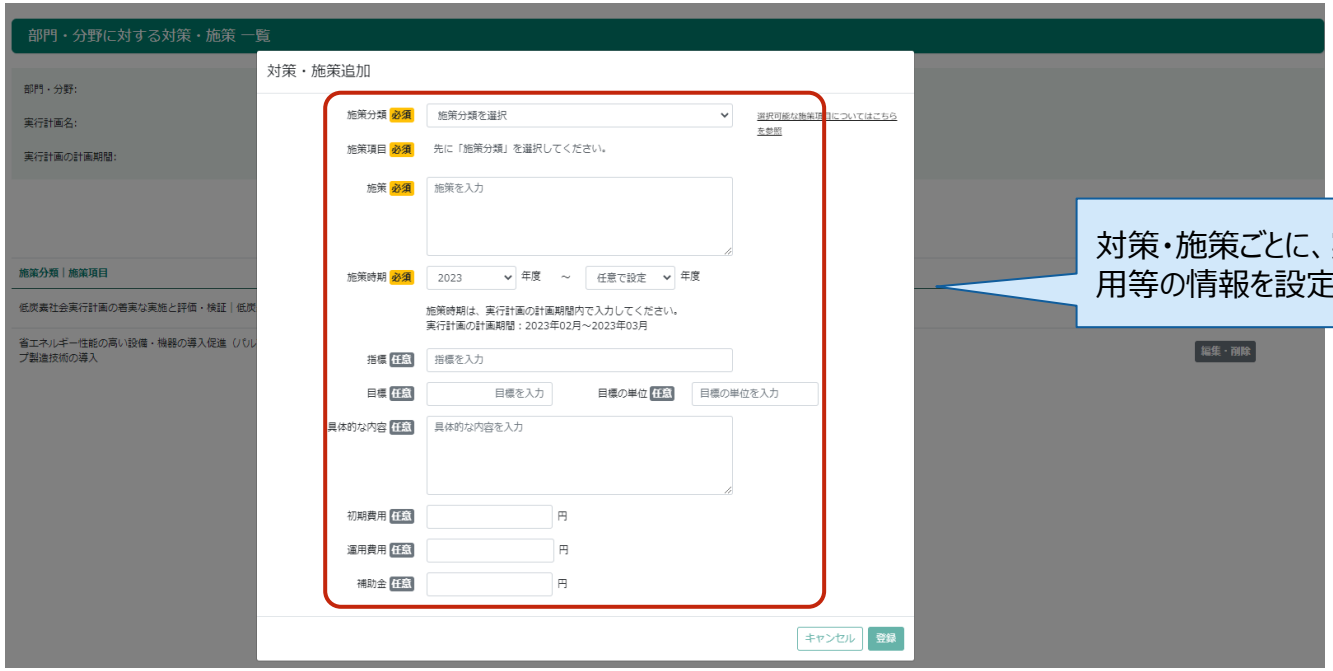
3．温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定支援機能

事務局

◆ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定における課題

温室効果ガスの排出削減のために取り組む対策について管理できていない

団体で実施している温室効果ガス削減に向けた**対策・施策を、部門・分野ごとに設定**することが可能です。部門・分野ごとに**主要な対策・施策リストがあらかじめLAPSSに登録**されているため、今後の対策・施策の検討に活用いただくことも可能です。



対策・施策ごとに、実施時期・具体的内容・費用等の情報を設定できます。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能概要（区域施策編）

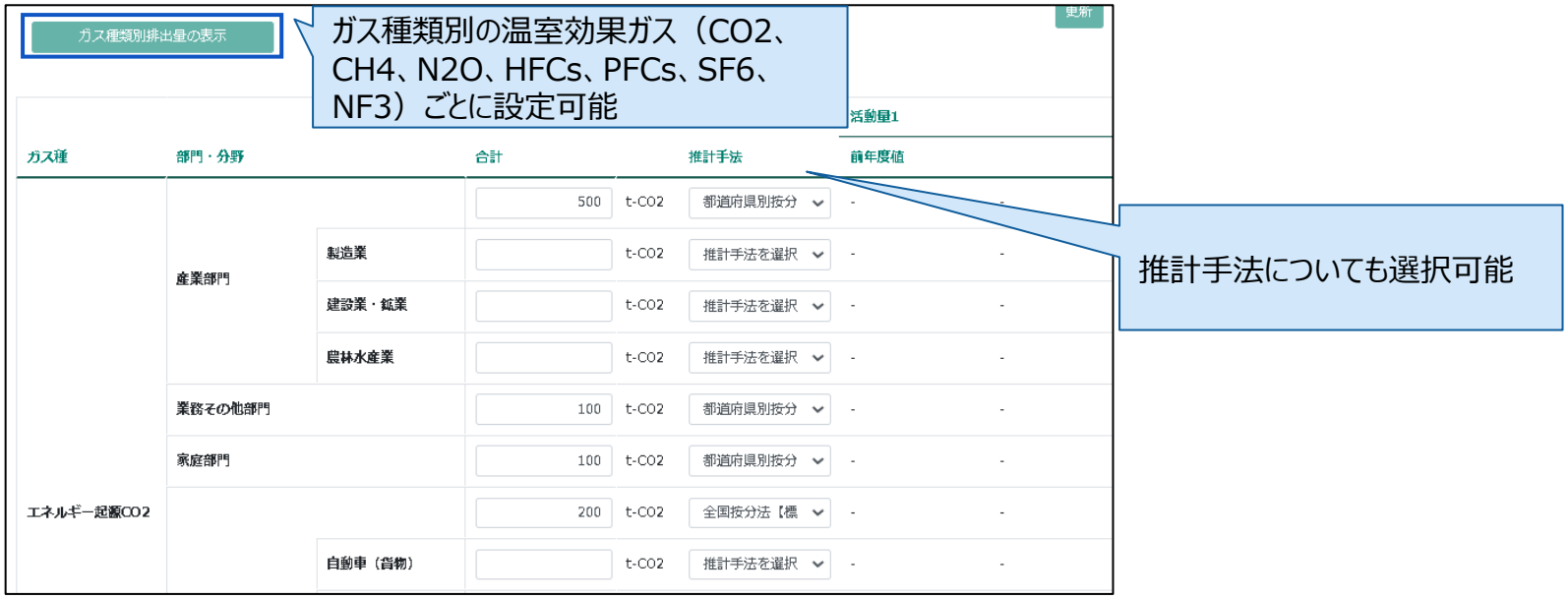
4．排出量・活動量データ管理・集計機能

事務局

◆ 排出量・活動量データの算定・集計における課題

排出量・活動量データの管理や精査に手間がかかる

部門・分野別に推計した、年度の温室効果ガス排出量を、ガス種別毎に**登録・管理が可能**です。
また、推計に用いた活動量の実績値も併せて管理することが可能です。
登録された情報は**帳票として出力**することもできます。



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等システム（LAPSS）操作説明

※本日の操作勉強会では**LAPSSの実際の画面を投影しながら、操作をご説明**いたします。

※本日ご紹介した操作概要については、以下URL掲載の資料にも記載しております。あわせてご確認ください。
https://www.lapss.env.go.jp/lapss/help/help.html

事務事業編（事務局）：	ユーザーズガイド（事務局編）Ver2.6
事務事業編（施設管理部局）：	ユーザーズガイド（施設管理部局編）Ver3.5
区域施策編：	ユーザーズガイド（区域施策編）Ver1.2

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSSの機能一覧（事務事業編）　※2025年5月時点

★：今回重点的にご説明する機能　再掲

マスタデータの一括登録機能	✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録
実行計画策定支援機能	✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力 ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能
★ 脱炭素に資する措置の設定機能	✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定 →措置分類、削減目標、導入費用等を管理
★ 活動量データ登録機能	✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ（実績値）を登録 ※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能
他団体比較機能	✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能
★ 排出量・活動量算定・集計機能	✓ 排出量・活動量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能 ✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能 ✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能 ✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能
措置の自己評価・点検結果登録機能	✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施
★ 入力依頼・督促メール配信機能	✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信
掲示板閲覧・投稿機能	✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした団体内掲示板機能を利用可能

Copyright（C）　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

LAPSS

質疑・応答

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Q&A

問い合わせ窓口に多く寄せられる質問、前回までの操作勉強会で出た質問をとりまとめています。

● LAPSSへのログイン

Q：LAPSSにアクセスした際、「このサイトは安全ではありません」というセキュリティに関するエラーが表示される。

A：暗号化通信に必要な証明書がパソコンのブラウザにインストールされていない場合、このようなエラーが表示されることがあります。システムへの通信は暗号化されている（https通信されており、あらかじめパソコンのブラウザに証明書をインストールしておく）必要があります。インストールする証明書および手順に関して、貴団体の情報システム部門にお問い合わせください。

Q：新規に追加されたユーザーアカウントでLAPSSへ接続する際のID、PWは当初のものと一緒になりますか？

A：アカウントごとに固有のID（メールアドレスを利用）、PWを発行いたします。なお、同一メールアドレスを複数アカウントに利用することはできませんので、ご注意ください。

Q：パスワードの設定、再設定を行ったが、入力したメールアドレスにメールが送られない。

A：サーバーの状態によって、メールの受信にお時間を要する場合があります。また、団体のセキュリティ設定によりメールが受信できない場合もありますので、メールの受信設定等をご確認ください。また、システムに登録したメールアドレスに誤りがある可能性もあるため、改めてシステムに登録したメールアドレスに誤りがないかご確認ください。

Q：ユーザーアカウント情報、施設・設備情報を変更したい。

A：（ユーザーアカウント情報）「マスタ設定」の「ユーザーアカウントを設定する」画面から、変更したいアカウントの「編集・削除」ボタンをクリックして下さい。必要に応じて内容を更新し、「更新」ボタンをクリックして下さい。
（施設・設備情報）「マスタ設定」の「施設・設備を設定する」画面から、変更したい施設・設備の「設定・削除」ボタンをクリックし、さらに「変更・削除」をクリックして下さい。必要に応じて内容を更新し、「更新」ボタンをクリックして下さい。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Q&A

● 活動量の入力

Q：施設分類別の活動量入力項目を新規登録、削除したい。

A：トップページから「マスタ設定」>「既定の入力項目を設定する」より、施設分類別の活動量入力項目を新規登録、削除することができます。

Q：活動量入力項目を、施設ごとに設定することは可能か。

A：施設分類別にご設定（「マスタ設定」>「規定の入力項目を設定する」）いただいた後、施設の設定（「マスタ設定」>「施設・設備を設定する」）から、施設ごとに不要な入力項目を「未使用」としてご設定いただけます。

Q：電力会社のメニュー名が複数あるが、どの項目を選択すればよいのかわからない。

A：事務事業編における温室効果ガス排出量算定にのみ本システムを利用している場合、該当する電力会社のいずれのメニューを設定いただいても問題ありません。なお、電力会社のメニュー名については、貴団体にて電力会社との契約内容をご確認いただく必要があります。

Q：活動量データ（月次実績）の入力を行いたいが、画面に「該当データが存在しない」と表示される

A：活動量データを登録するためには事前に活動項目を施設分類毎に登録する必要があります。活動項目の登録は事務局権限のユーザでトップページから「マスタ設定」>「既定の入力項目を設定する」より登録できます。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Q&A

● 活動量の入力（続）

Q：実績値を一括登録したいが、各施設のデータを1ファイルに集約しなくてはいけないか。

A：活動量データを登録する際には、必ずLAPSSの画面からダウンロードいただいたファイルをご利用いただく必要があるため、お手数をおかけし恐縮ですが、各施設からのファイルを1ファイルにご集約ください。

Q：かんたん算定シートや一括機能実装前の環境省指定のデータ取り込み様式でLAPSS上に実績値を一括登録することは可能か。

A：活動量データを一括登録する際には、必ずLAPSSの画面からダウンロードいただいたファイルをご利用いただく必要があるため、データを加工していただく必要がございます。

Q：入力したデータについて、入力ミスがないか確認したいが、データの出力方法はあるか。

A：入力したデータについては、csv形式での出力が可能でございます。また過去分の入力データについても、遡って修正を実施することが可能でございます。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Q&A

● 集計結果の分析・出力

Q：集計結果のグラフや表をそのままコピーして報告書などに貼り付けることは可能か。

A：表の出力形式はcsv形式ですが、「団体内の排出量を集計する（月次／年度別）」ページで表示されるグラフや表の上で右クリックし、「名前をつけて画像を保存」を選択するとpng形式で保存することができます。

Q：施設を登録したが、その施設が廃止された場合の操作方法は。

A：「マスタ設定」＞「施設・設備を設定する」から廃止したい施設をご選択いただき、画面右側の「設定・編集ボタン」＞「変更」を選択すると開く「施設情報　変更・削除」ページの「制度対象期間」の廃止年度欄をご記入ください。

Q：年度途中で施設が移管され、施設情報から施設所管課室の情報を変更した場合、集計等に影響する可能性はあるか。

A： 施設のマスタ設定で施設管理課室を変更すると、過去の排出量分も含めて移管先部署の排出として記録されます。過去排出分は移管前部署の排出として管理されたい場合には、該当施設をLAPSS上で廃止登録（「施設情報　変更・削除」ページの「制度対象期間」の廃止年度を追加）し、移管後の施設は移管先部署が所管する新施設としてご登録ください。

Q：他団体の情報を確認できるとのことだが、自団体で各施設ごとに公開範囲を定めることはできるか。

A：LAPSSは団体の取組のノウハウ共有のためにも活用していただきたいと考えているため、現状では公開範囲を制限する機能は設けておりません。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Q&A

- **その他**

Q：団体内掲示板はファイル添付は可能か。可能な場合、添付可能な最大データサイズは。

A：可能です。ファイル数は5件まで、合計10MBまで添付いただくことが可能です。

Q：実際の利用開始が登録年度の翌年になっても問題ないか。

A：作業負荷軽減の観点からも登録後できるだけ早く利用を開始していただくことが望ましいですが、利用開始が遅れることで再登録申請や機能制限等の問題が発生することはございません。

Q：施設管理部局へ説明する際に利用できる資料はあるか。

A：環境省のウェブサイトにて、LAPSS操作勉強会の録画・資料を掲載しております。また、LAPSSログイン画面の「LAPSS上の操作でお困りの方はこちら」からユーザーズガイドを閲覧いただけます。LAPSS専用の問い合わせ窓口も設置しております。

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

ご参考

マニュアル・支援ツール等の一覧

- **<u>マニュアル類</u>**
  ユーザーズガイドで基本的な機能を確認し、より詳細を知りたい場合にはシステム操作手順書をご参照いただけますと幸いです。
  →https://www.lapss.env.go.jp/lapss_test/help/help.html
  - ユーザーズガイド：事務局・施設管理部局向けをそれぞれご用意しております。
  - システム操作手順書：より詳細に操作や機能を確認したい際にご利用ください。

- **<u>動画での操作説明</u>**
  支援サイトでLAPSSの操作デモ動画を公開しております。
  - 支援サイト（操作勉強会）：主要な機能の操作デモの録画を公開しております。
    →https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html

- **<u>問い合わせ窓口</u>**
  LAPSSの操作についてご不明な点がございましたら、お問い合わせ窓口をご利用ください。
  - 【お問い合わせ窓口（ミツイワサポートサービスセンター）】
    - 電話番号 ：050-3354-6686
    - メールアドレス：lapss-helpdesk@mitsuiwa.co.jp

- **<u>庁内等での説明資料</u>**
  支援サイト上で、LAPSS説明会の資料を公開しております。
  LAPSSの基本機能に加えて導入団体の声や成果についても紹介しておりますので、ぜひご活用ください。
  →https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

ご参加ありがとうございました

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.